

自宅で快適な生活を

沼田で在宅医療推進講座



講演に先立って行われた利根商業高吹奏楽部の演奏

市民向けの在宅医療推進講座が16日、沼田市内のホテルで開かれ、住民や医療、介護関係者ら270人が講演に耳を傾けた。

講座は、病気や障害があっても自宅で快適に暮らせるよう、訪問看護ステーションまつかぜ(同市東原新町)の在宅医療連携拠点室が毎年開催している。

同室の平松美枝子さんが地域の在宅医療の取り組みについて報告した。フォトジャーナリストの国森康弘さんは、映像を使って在宅ケアやみとりの現場を紹介した。

講演に先立ち、利根商業高吹奏楽部の部員が「美空ひばりメドレー」などを演奏した。